# セラミック審美歯科治療

## 見た目だけではない健康的にずっと長く
## 大切な歯を守るために

症例紹介

ビフォー

⬇

アフター

### メタルとセラミックの耐久年数の違い

| | |
|---|---|
| メタル | 2～7年 |
| セラミック | 15～20年 |

### 接着剤の違い　歯科用セメントの重要性

私たちは、むし歯で患部を削ったら、銀歯やセラミックなど素材を詰めます。
その時に歯と詰め物をくっつけるために「歯科用セメント」と呼ばれる接着剤を使用しています。
歯科材料の進歩＝接着技術の進歩と呼ばれるほど、この「接着」がとても大切です。
旧来の歯科治療では「合着」という技法を使って詰め物や被せ物を歯に取り付けていましたが
現在は技術が進歩し「合着」から「接着」という技法が多く使われるようになりました。
そして、二次的なむし歯を防ぐためには
詰め物や被せ物を歯に取りつけるときに使用する材料が、その後の歯の寿命の明暗を分けるのです。
当院では詰め物・被せ物に使うものはもちろん
接着剤においても、患者さんの症状やご希望などの状況に合う歯科材料を取り揃えております。

**合着**　接着剤（セメント）が被着材（歯）の凸凹に入り込んで固まり、脱離しなくなる機械的な原理です。
一体化ではなく、歯の上に取れないように乗っている状態の為、セメントが経年劣化するといずれ剥がれます。

**接着**　接着とは被着材（歯）と接着剤（セメント）の科学的な結合（分子的結合力）によって
吸着する科学的な原理です。歯と一体化するため、離れにくい状態になります。

福山東部
FEDC
歯科医院